

わたしたちの暮らしと雪

(1) 雪の正体をさぐろう！

① 雪はどうして降るのかな？

◆札幌に雪が多い理由

札幌に雪がたくさん降るのは、「日本海からくるしめった空気」と「シベリアからくるつめたい空気」がぶつかって、大きな雪ぐもができやすいからです。

札幌は人口が多い大きな都市なのに、世界でもめずらしい“雪の多いまち”です。

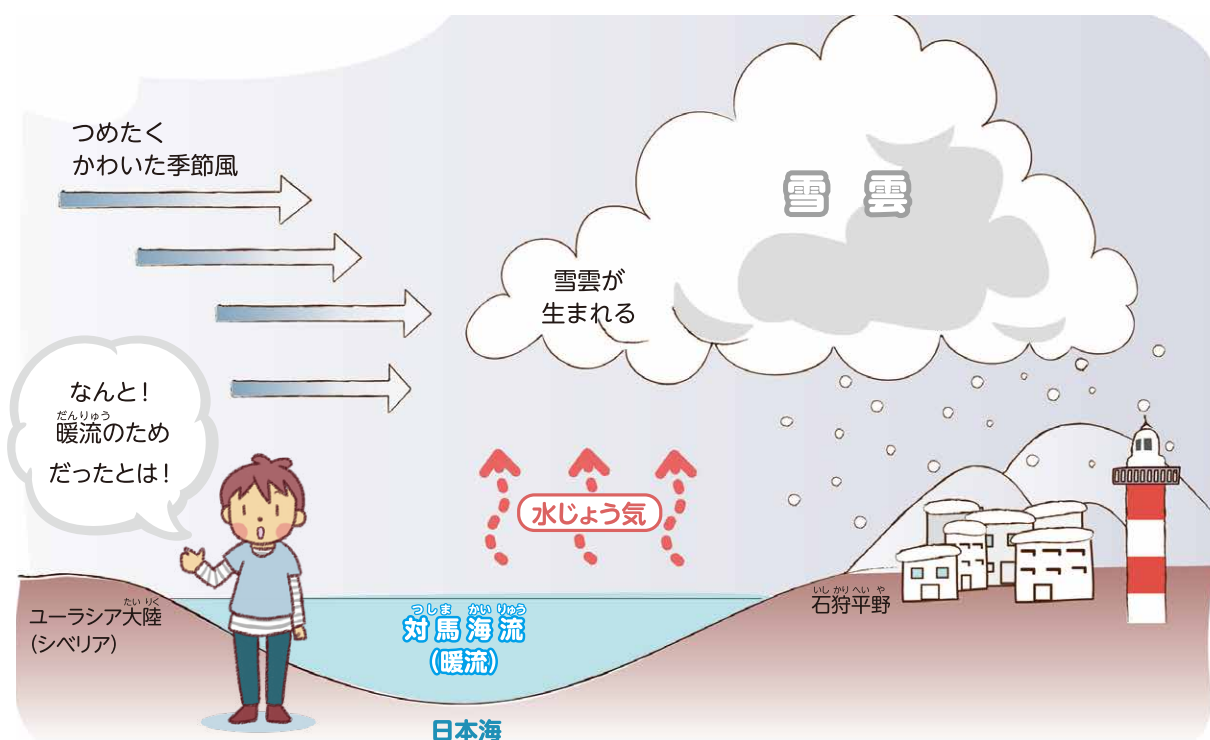
◆雪が増えるしくみ

1. 日本海のはたらき

冷たい空気が日本海の上を通ると、海のあたたかさで水分をたくさんすいこみ、雪雲ができやすくなります。

2. 地形のえいきょう

日本海でできた雪ぐもが風に流され、石狩湾から札幌の方へ来るので、たくさん雪がふります。



◆札幌の雪の特徴

1. 世界でも多い

札幌では1年でだいたい4～5メートルの雪がふります。同じくらいの緯度のニューヨークやロンドンよりずっと多いです。



2. 12月に増えやすい

海の水がまだあたたかい時期に、強い寒気が来ると、大雪になりやすいです。

3. まちの中でもちがう

山に近い南区や西区は特に雪が多め。中央区や白石区などは少し少ないです。

◆北海道の雪の質

寒い中でふる雪は、水分が少なくてフワフワ。「パウダースノー」とよばれ、すぐにとけないのでたくさんつもります。

